

令和8年度工事監査の結果（4月～10月実施）

1 監査の種類

(1) 監査の名称

地方自治法第199条第5項の規定に基づき実施する工事に関する監査（以下「工事監査」という。）

(2) 工事監査の概説

監査委員が必要に応じ、地方公共団体の長等によって行われた工事が適法かつ合理的、能率的に行われていたか、また、経済的に妥当なものであったかについて、財務、技術の両面を通して監査し、その結果を報告するものです。

2 監査の目的

技術士資格を有する専門家の判断を踏まえ、対象事業の計画、設計、積算、契約、施工等の妥当性、経済性及び安全性を監査することにより、本市における建設事業の進展に寄与しようとするものです。

3 監査の対象

(1) 対象事業

令和6年度震生湖太鼓橋架替工事

(2) 対象部課等

環境産業部観光振興課

建設部道路整備課

総務部契約検査課

(3) 監査対象事項

技術面及び財務事務執行面

4 監査の実施方法

(1) 期間

令和8年4月1日から令和8年10月20日まで

(2) 場所

監査事務局及び対象工事現場

(3) 着眼点

ア 計画…工事の計画は妥当か等。

- イ 設計…事業目的に適合した設計となっているか等。
- ウ 積算…積算基準、積算資料等の整備状況及びその運用は適切に行われているか等。
- エ 契約…契約書、見積書等関係書類は确实かつ的確に整備されているか等。
- オ 施工…工事施工計画は適切か等。

(4) 手順

- ア 上記の着眼点に従い、当職らが契約など財務事務執行面を事前に調査した後、改めて、技術面を中心にした監査項目全般についての調査を公益社団法人大阪技術振興協会に委託しました。
- イ 同協会から派遣された、技術士資格を有する菊地眞氏（以下「技術士」という。）により、当職ら立会いのもと、令和８年６月２日に書面調査と現地調査を実施しました。
- ウ 技術士を中心に所管課との事情聴取を重ねた結果、令和８年８月３１日に提出された「秦野市令和８年度工事監査 技術調査結果報告書」（以下「報告書」という。）を踏まえ、総括的な監査を行いました。

5 工事の概要

- (1) 工事場所 秦野市今泉地内外
- (2) 工事内容 工事延長 L＝16.5m、工事幅員 W＝2.8m
準備工 一式
土工 一式
上部工 一式
下部工 一式
護岸工 一式
仮設工 一式

(3) 契約内容

- ア 契約の種類 工事請負契約
- イ 契約方法 通常型条件付き一般競争入札
- ウ 契約日 令和６年４月２５日（当初）
令和７年１月 ８日（変更１回目）
令和７年６月 ２日（変更２回目）
令和７年６月 ９日（変更３回目）
令和８年１月２７日（変更４回目）

令和8年3月27日（変更5回目）

エ 工 期 令和6年4月26日から令和7年1月20日まで（当初）
令和7年6月20日まで（変更1回目）
令和7年9月30日まで（変更2回目）
令和8年2月 2日まで（変更3回目）
令和8年3月31日まで（変更4回目）
令和8年6月26日まで（変更5回目）

オ 契約金額（税込） 102,695,670円（当初）
200,874,300円（変更）

カ 請負事業者 秦野市平沢319-5
株式会社水野建設

6 監査の結果

技術士から提出された報告書の総合的所見では、今回の工事について、計画から施工まで、手続き的には規則に則り実施され、概ね問題はなかったが、個々の内容について検討や調査、確認していただきたい事項があったので客観的な視点での検証を望む旨記載され、以下の事項について、対応や検討を求める指摘が出されました。

- (1) 入札時における条件明示
- (2) 難易度に応じた施工体制の構築
- (3) 書面による工事への同意確認
- (4) 課題の事前把握と優先度を見極めた工程管理
- (5) プロジェクト管理体制の構築

これらの指摘事項は、設計書や施工計画書をはじめとする関係書類について、土木工事等に関する専門知識や豊富な工事監査の経験を有する技術士が精査するとともに、その過程で生じた確認事項に対する所管課からの回答や、現場調査を含めた所管課との事情聴取等を踏まえた上で示されたものです。

技術士による事情聴取及び現場調査に立ち会った当職らとして、この報告書は、客観的かつ専門的な見地から調査と検討を重ねた上で、提出されたものであると判断します。

7 むすび

「秦野市総合計画 はだの 2030 プラン」では、秦野駅周辺のにぎわいづくり

に向けた震生湖の活用を施策の一つに掲げ、その散策道や湖面環境の整備に取り組んでいます。

今回、その一環として実施された震生湖太鼓橋架替工事により、老朽化による損傷が進んでいた橋がバリアフリーに配慮した橋に整備されたことで、来訪者の安全性や利便性が高まりました。周辺施設の整備と併せ、この橋を適正に維持管理し、震生湖の魅力向上につなげていただくことを期待します。

一方で、技術士の報告書でも述べられているように、今回の工事は、狭あいな運搬路や湖水内での施工など、厳しい施工条件下における難易度の高い工事であったとはいえ、結果として、度重なる工期の延長に加え、工事費についても増額変更を行うこととなりました。

市においては、その要因について改めて検証し、その結果を今後の適正な公共工事の執行に生かされることを期待します。